

魚の“旬”をお知らせします！ 魚市場水揚げ通信

女川魚市場 編

9月号



宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
「みやぎ水産の日」PR広報紙 vol.38(1) (平成30年10月23日発行)

定置網(イワシ・イナダの水揚げ)

○今回は、朝5時に有限会社泉澤水産の定置網船に乗船し、網起しを取材しました。
○定置網では、イワシ類計34トンと※イナダ・ワカシ計5トンの水揚げがあり、1隻では魚を積みきれず、一度魚市場に戻って水揚げを行い、二度の網起しとなりました。
(※イナダ・ワカシはブリの未成魚です。1kg以下をワカシ→1~3kgをイナダ→3~8kgをワラサ→8kg以上をブリと呼びます。)
○朝、日の出前に着くと、暗い中網起こしが始まります。網が巻き上げられると、水面には朝日に銀輪が跳ね上がり、船上には活気がみなぎっていました。



①朝5時に女川魚市場を出港し、定置のある江島漁場に向かいます



②元気なインドネシア人研修生



③前日獲れた魚で朝食を準備します



④30分程で定置網に到着します



⑤これから網起しの準備をします



⑥網起しは油圧機械で行います



⑦網に入ったマグロは逃がします



⑧網に寄せられたイワシから音がします



⑨巨大なタモ網ですくい魚槽へ入れます



⑩20t入る魚槽はいっぱいになりました



⑪網に入ったマイワシです 約15cm



⑫8時に女川魚市場に入港し水揚げします

定置網(つづき)

〈第二十八清水丸の坂本船長に今年の漁模様についてお聞きしました〉

今年の4月～5月は昨年に比べサバ・イワシの水揚量が多かったですが、今は落ち着いた感じです。定置網は魚を待つ漁業なので、海況や他船の操業状況に影響されますが、今後のサバ・イワシ漁に期待しています。



サンマ棒受網



サンマ漁場がロシア海域から南下し、日ごとに東北へ近づいています。9月26日に女川へ水揚げしたサンマは八戸沖で漁獲されたものです。

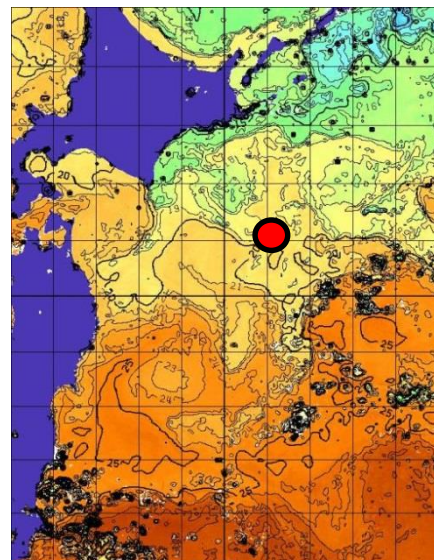
一般社団法人 漁業情報サービスセンターによる平成30年度第3回サンマ中短期漁況予報は以下のとおりとなっています。

○三陸海域の来遊量

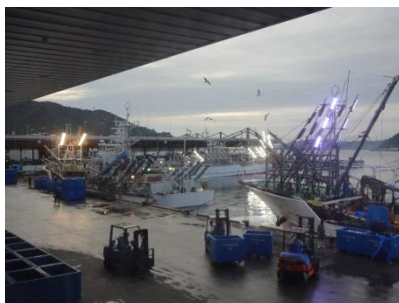
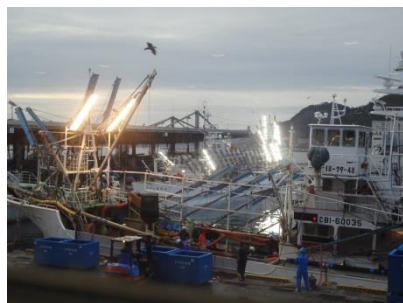
10月中旬には来遊があり、10月下旬～11月上旬にかけて量は増加し、三陸海域へのピークは11月中旬頃になると予想されています。

○三陸海域の漁場

10月中旬～下旬は、三陸北部(青森・岩手)に漁場が形成され、11月上旬には三陸南部(岩手・宮城)まで漁場が広がります。宮城沖への漁場形成は11月下旬頃と予想されています。



サンマ漁場位置→ ●



女川魚市場でのサンマ水揚げ状況です。9月26日は3隻で200トンの水揚げがありました。

〈(株)女川魚市場の加藤 實代表取締役社長伺いました〉

今年のサンマは身が厚く脂の乗りも良いので大変美味しいです。値段も安定しており手頃なので、是非皆さんも旬のサンマを味わって下さい。



編集後記 網起しを見ていたところ、網を寄せて魚を集めた片方のロープが海中に沈められ、30kg未満のクロマグロ小型魚を逃がしていました。この取り組みは、WCPFC(中西部太平洋まぐろ類委員会)により、クロマグロ小型魚の漁獲管理を守るための措置です。急いでカメラに収めようとシャッターを切りましたが、遊泳速度が速く写っていませんでした。次回は、ビデオを準備して定置網業者が行っている資源管理の取組も掲載したいと思います。(K.O)

[お問合せ先]
宮城県東部地方振興事務所
水産漁港部
TEL:0225-95-7914, 1473